

標十五句

松岡隆子選

溪川は利根へと逸るえごの花
クリムトの永遠の接吻五月憂し
草笛の草の中より聞こえけり
ひとの立ちたるぼうたんの濃くなりぬ
いちめんの白光に浮く未草
百合真白こだはつて人遠くせり
予後の歩の自づと泉鳴る方に
ほほづゑをして春愁を支へけり
父の日の被り慣れたる野球帽
入院の音なき個室明易し
噴水のてつぺんにある刹那かな
礼状に返す礼状青葉木菟
近づけばどこか暗くて新樹かな
紫陽花の色のはじめの日照雨かな
たんとたとと経緯語る藤の花

松原ふみ子
川上昌子
佐藤郭子
平沢千恵子
広渡詩乃
小山陽子
高橋愛子
室井千鶴子
相馬晃一
早川紀子
田坂孝志
小村絹代
町田洋子
梶浦道成
大津朗